

いわて海洋研究コンソーシアムセミナー

「海から考える脱炭素の未来」

～海は二酸化炭素をどこまで減らせるのか

注目される「海洋CDR (mCDR)」を知る～

日時：2026年9月17日（木） 14:30～17:15

場所：岩手大学釜石キャンパス1階セミナー室

オンライン同時配信 ※現地定員：40名

地球温暖化への対応が世界的な課題となる中、海藻や藻場などが二酸化炭素を吸収・貯留する「ブルーカーボン」をはじめ、「海の力」に注目が集まっています。

本セミナーでは、ブルーカーボンも含め、海洋の二酸化炭素吸収能力を高める技術「海洋二酸化炭素除去（mCDR: marine Carbon Dioxide Removal）」を取り上げます。

海藻養殖、海洋生態系の回復、栄養塩の利用、人工的な海水循環など、現在検討されている多様な手法について、その仕組みや可能性、実用化に向けた課題を、専門家が分かりやすく解説します。

海洋環境変化への対応をめぐる国内外の動きを学び、三陸地域における研究、産業振興、地域振興とのつながりを考えるセミナーです。ご興味をお持ちの方はどなたでもご参加いただけます。

《基調講演》 14:35～15:30

海を利用したCO₂吸収技術（mCDR）

～ブルーカーボンだけじゃない～

国立研究開発法人 水産研究・教育機構 水産資源研究所

海洋環境部 主幹研究員 小笠恒夫 氏

《講演》 15:30～16:25

世界規模の気候変動を地域で考える

国立大学法人東京大学 大気海洋研究所 国際・地域連携研究センター

地域連携研究部門大槌研究拠点 教授 藤井賢彦 氏

《事例報告》 16:35～16:50

海を活かして、地域で脱炭素する

～釜石発・波力発電の実用化と海洋産業への展開～

株式会社マリンエナジー プロジェクト事業部

部長 小笠原順一 氏

《総合質疑》 16:50～17:15

主催：いわて海洋研究コンソーシアム
共催：岩手県海洋エネルギー産業化研究会
後援：さんりく養殖産業化プラットフォーム

お申し込み方法は
裏面をご覧ください

講師紹介

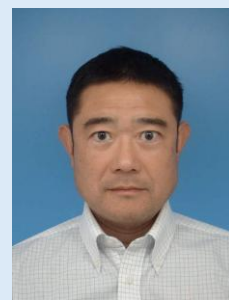


小埜 恒夫 (おの つねお)

水産研究・教育機構水産資源研究所海洋環境部主幹研究員

<略歴>

茨城県出身。1996年に北海道大学博士課程を修了(水産学博士)。
地球フロンティア研究システムを経て、2002年より現研究所に勤務。
温暖化、酸性化等が海洋生態系に与える影響の評価と、その適応・緩和技術の研究が専門。勤務地は横浜だが、様々なCO₂吸収技術が海洋生物に与える影響を調べる実験のため、隔月で宮古に通っている。ホヤは苦手。



藤井 賢彦 (ふじい まさひこ)

東京大学大気海洋研究所大槌沿岸センター長・教授

<略歴>

北海道大学大学院地球環境科学研究科博士後期課程修了、博士(地球環境科学)。国立環境研究所特別研究員、米国メイン州立大学海洋科学部博士研究員、北海道大学大学院地球環境科学研究院准教授を経て、2023年4月より現職。潜水土、温泉マイスター。
専門は海洋学、環境科学。地球規模で進行中の地球温暖化・海洋酸性化・貧酸素化が海洋生態系や沿岸社会に及ぼす複合影響の評価・予測・対策に関する研究・教育に取り組んでいる。

お申し込み方法

下記のいずれかでお申し込みください

①右のQRコード(二次元バーコード)から

②URLから

<https://forms.cloud.microsoft/r/urb2ppmzz7>

③下記問い合わせ先へFaxまたはメールから

※お名前、ご所属、ご役職、参加方法をお知らせください

いわて海洋研究コンソーシアムセミナー
「海から考える脱炭素の未来」申込
フォーム



会場アクセス

岩手大学釜石キャンパス(岩手県釜石市平田3-75-1)

【車の場合】:釜石駅前から約15分

【バスの場合】:岩手県交通「上平田バス停」から徒歩約15分

【鉄道の場合】:三陸鉄道南リアス線「平田駅」から徒歩約20分



<お問い合わせ先>

運営事務局:岩手大学釜石キャンパス事務局 担当 丹野

電話:0193-55-5691、Fax:0193-36-1610

メール:kamaishi@iwate-u.ac.jp